

水中考古学フォーラム

# 「世界の水中遺跡を考える」

平成28年 8月 27日(土)

10:00~15:45 (9:30開場)

## 趣旨説明

小泉 恵英 (九州国立博物館学芸部長)

## 講演

(10:00~14:20)  
昼食休憩含む

「オランダの水中文化遺産保護：国際協力調査の可能性」

Martijn Manders (マートイン マンダース)

オランダ文化遺産庁海事考古学局長

「日豪共有水中文化遺産：その保護と活用について」

Andrew Viduka (アンドリュー ヴィドゥーカ)

オーストラリア環境庁海事遺産局長補佐

「アジア・太平洋地域の水中遺跡の保護の現状と課題」

Bill Jeffery (ビル ジェフリー)

Guam University 人類学部准教授

## 討論

(14:30~15:45)

日本と世界の水中遺跡保護の現状

司会) 赤司 善彦 (福岡県文化財保護課長)

会場：九州国立博物館 研修室 (1F)  
福岡県太宰府市石坂4-7-2

参加費： **無料 (当日受付 先着80名)**

当日はどなたでもご自由にご参加できますが、  
お席に限りがありますので予めご了承下さい。

お問い合わせ：  
博物館科学課 佐々木 092-918-2819 sasaki-r@kyuhaku.jp

## 博物館へのアクセス

西鉄「福岡(天神)」駅から約35分

→西鉄「二日市」駅乗り換え西鉄太宰府線

→「太宰府」駅下車→徒歩約10分

JR「博多」駅から約35~50分

→JR「二日市」駅下車→タクシーで約15分

→西鉄バス「太宰府」駅下車→徒歩約10分

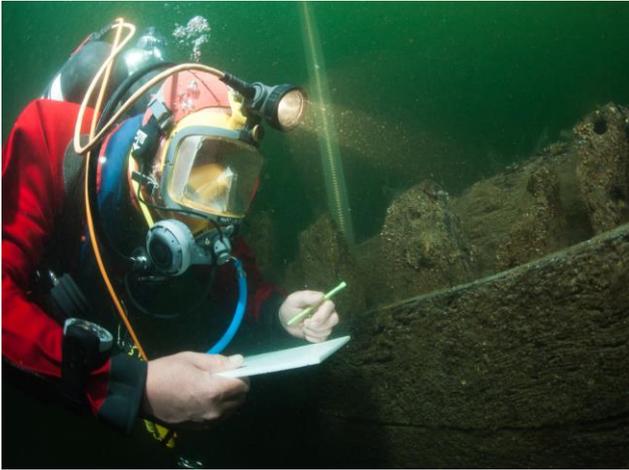
## お車でのご利用

太宰府IC または 筑紫野IC から  
高雄交差点経由で約20分

九州国立博物館：水中考古学フォーラム 『世界の水中遺跡を考える』  
平成 28 年 8 月 27 日(土)

司会・通訳 木村 淳（東海大学海洋学部特任講師） 佐々木 蘭貞（九州国立博物館研究員）

講演者紹介



**Martijn Manders** （マールティン・マンダース）  
オランダ文化遺産庁海事考古学局長。国内の水中央史跡の管理や国外のオランダ関連水中文化遺産などの調査を行っている。海事考古学局は世界各地で水中考古学分野の人材育成のプログラムも実施している。ユネスコの水中央文化遺産の調査・研究ワークショップなどの講師を務めるほか、ライデン大学で水中・海事考古学を教える。



**Andrew Viduka** （アンドリュー・ヴィドゥーカ）  
オーストラリア環境庁海事遺産局長補佐。国内海事文化遺産の調査・研究プロジェクトの実施や、沈没船遺跡のデータベースの管理業務に従事。オーストラリア国外で水中遺跡調査の経験があり、オーストラリア・イコモスの水中文化遺産メンバーを務める。また、非営利研究団体も自ら設立し、水中文化遺産保護の重要性を訴える活動をおこなっている。



**Bill Jeffery** （ビル・ジェフリー）  
グアム大学人類学部准教授。水中考古学に 35 年以上携わり、南オーストラリア州の水中文化遺産の保護体制の確立に貢献。スリランカ政府やアフリカ政府と協力し水中文化遺産の保護体制の整備に努めてきた。近年では太平洋諸国の水中文化遺産や戦争遺跡の調査を実施している。また香港の大学と連携して水中遺跡の調査の指導をおこなっている。

水中遺跡保護についての世界的な最新情報が発信される数少ない機会になりますので、多くの方の参加をお待ちしております。水中遺跡の保護に興味を持っていただけるよう、一般向けの内容となっております。